

生理指標を用いた動作解析及び 運動促進システムの開発

井上 裕美子 (いのうえ ゆみこ)
情報科学部 ネットワークデザイン学科 准教授



用途・応用分野：生理計測、動作分析、運動促進システム開発

■ 研究シーズ概要

生理計測を行い、動作分析、視線分析など運動に関わる評価や研究を行っている。歩行動作の分析では、足底圧分布を計測し、高齢者への歩行フィードバックや、足裏テーピング効果の検討なども手掛けている。また、視線分析では、サッカーのゴールキーパーの視線を計測することにより、ゴールキックの方向判断時に何を見て方向を判断しているのかなどの検討も行っている。VR等を用いた運動促進システムの開発を行っている。

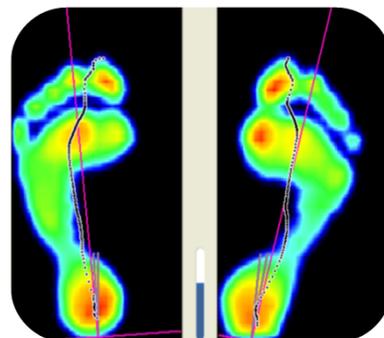
－歩行時のテーピング効果の検討例－



全面テーピング



足底のみテーピング



■ 研究シーズの特徴

生理指標を用いて、人の行動分析、リハビリ促進、認知、心理評価等を行う。VRを用いた運動促進システムの開発及びシステム評価を行う。

- ①動作・視線分析：歩行、アーチェリー行射姿勢、視線解析、VR酔いの生理応答
- ②運動制御：リハビリ支援システムの開発、力発揮時の制御機構の研究
- ③運動促進システムの開発：VR等を用いた手軽にできる運動促進システム開発

